

明るく元気の出る町

平成10年4月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1998

4

NO.517



卒業式

～八塩小～



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

たくさんさんの課題を持って今年も出発



阿部幸悦町長による 施政方針

長い間日本は、政治は三流だが官僚・経済人は一流といわれていたのですが、その超一流といわれる大蔵省がらみの不祥事が発覚して散々な評価を受けていることはご承知の通りであります。

これは秋田県でもいわれることであり、昨年には佐々木知事の引責辞任という事態まであったことであり、寺田新体制になりこの解明と解決策に苦慮しているところでもあります。大きく日本が二十一世紀に羽ばたくための陣痛であると理解して参りたく思います。

政府がいま進めようとしている六大改革も、そういうことであり、特に私たちと致しましては行政改革や地方分権、財政構造改革に大きく注目していかなければならないことです。財政構造改革では特にこの三年間を集中期間と定めて公共事業費の一五%

第一回議会定例会は、三月五日に招集され、初日は阿部幸悦町長の施政方針発表、小松順之助教育委員長の教育方針説明、二議員の一般質問の後、東由利町税条例の一部を改正する条例など二案件を原案通り可決しました。翌六日の本会議では、東由利町農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の制定など、十五案件を原案どおり可決、総額四十億八千八百万円（前年度当初予算比〇・五パーセント増）の平成十年度一般会計予算などを委員会に付託しました。

九日からは各委員会審議が行われ、最終日の十九日、町道の認定など九議案を原案どおり可決、閉会しました。

を削減するということがあります。秋田県はまだまだ社会資本の整備が立ち遅れているわけですから大変心配されるのであります。ただ本荘由利地区では懸案の日本海沿岸自動車道の着工も決まり、平成十九年の秋田国体までは完成するという目標が達成できそうで安堵したところでもあります。

しかし、これからいろいろな面で大きく影響がでてくることは避けられないことでしょうから心してまいらなければなりません。

いろいろな課題はあることですが、昨年の秋田県は秋田自動車道も北上で東北自動車道とつながったことですし、ミニ新幹線こまち号も開通しました。いよいよ

夢をのせて

ことしの町づくり

一年一年の積み重ねの結果に

よ高速交通体系に組み込まれることになったことで、「こまち」効果と言われ、いい影響がでて来たことでもあります。

平成十年度も事業のますますの充実を図ることは勿論のこと、多くの課題にも立ち向かいながらの予算案になっております。起債残高も大きくなっていくのでありますが、自主財源が少ない我が町財政でありますから、起債にたよらないでの予算構成はできない事です。過疎債はじめ良質債を積極的にとりいれて、ますますの町民福祉の向上をはかっていくのであります。当然ではありますが、そのとき財政の健全化指数などは十分心していくのは云うまでもないことであります。

今年も我が町づくりの永遠のテーマであります、四つの課題

一、長寿社会を共に寿ぐために

二、山紫水明の里づくり

三、産業の振興

四、人材の育成 後継者づくり

を強く心しての予算編成であることはいうまでもないことであります。そしてまた町議会の予算・決算の審査報告書や議会のご提案意見・町政座談会等での要望や町民の多くの町づくりに対するご意見を施策化したものであり、また、それぞれの担当職の英知を絞った結果でもあります。

平成十年度一般会計当初予算は四十億八千八百万円となり、前年度当初比〇・五%の増となります。七つの特別会計の合計では二十六億三千万円になります。

国の財政構造改革は総歳出の削減となり、当然

我々も大きく影響されることでありますし、景気低迷の結果、地方交付税の原資である国税の減収もあり心配される所であります。しかも第一次活性化事

業も一応メドがついた所でありますから当初比ではマナスとなっても当然ではあるのですが、継続事業で取り組む町民プール整備事業などもあり精一杯の行政需要に応えたところであります。

また限られた定員のなかでますます増大する行政需要に対処して行くためには常時機構の見直しもして行かなければならないことであります。簡易水道特別会計がご承知の通り、老朽管の取り替え事業で膨らんでいくことであり、下水道事業とリンクして行く部分もかなり出ていることでもありますので、この際水道係を建設課に移して上下水道整備事業を一元化管理にしていきたいのでご理解をお願い致します。

平成十二年からの介護保険に備えてのモデル事業も始まるのですが、その態勢も整えていかなければならないことですが、限られた定員の中でありますので頭の痛いことであります。

大きく米価の低迷する中ですが、担い手事業として葎沢地区の圃場整備が始まります。転作の集中期間ともリンクすることになります。二か年続けての全面休耕をお願いしているところでもあります。昨年比八十ヘクタールの増、二八・九%にも及ぶ転作面積を消化していかなければならない農家の将来を見据えながら、できる支えをしつかりして行かなければなりません。

今年も沢山の課題を持つての出発の予算案となります。行政は継続であり、一年一年の積み重ねの結果が現実ということになります。この現実には今年ほどのような夢を乗せながら将来を見据えての予算案になっているのが問題だと心得ております。どうか満点とは申しませんが合格点がいただけますようお願い申し上げます。

平成十年度も「明るく元気の出る町」東由利のますますの発展のため、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

767,844円

(一般会計)

町の人口は、
2月末現在の
5,324人とした

一般会計歳入 40億8800万円

一般会計 (歳入)

歳入

(単位：千円／△：減)

項 目	本年度当初予算	前年度当初予算	増 減 額
町 税	299,226	287,909	11,317
地 方 譲 与 税	61,000	67,000	△ 6,000
利 子 割 交 付 金	2,000	3,000	△ 1,000
地方消費税交付金	22,000	12,000	10,000
特別地方消費税交付金	1	1	0
自動車取得税交付金	36,000	38,000	△ 2,000
地 方 交 付 税	2,149,232	2,070,941	78,291
交通安全対策特別交付金	1,200	1,200	0
分担金及び負担金	78,336	75,736	2,600
使用料及び手数料	21,405	12,205	9,200
国 庫 支 出 金	217,322	193,624	23,698
県 支 出 金	500,124	481,878	18,246
財 産 収 入	11,279	12,860	△ 1,581
寄 付 金	1	1	0
繰 入 金	171,605	142,997	28,608
繰 越 金	60,000	60,000	0
諸 収 入	37,269	42,231	△ 4,962
町 債	420,000	567,800	△147,800
合 計	4,088,000	4,069,383	18,617

国庫支出金

40,819円 (5.3%)

その他

94,309円
(12.3%)

町税
56,203円
(7.3%)

県支出金
93,938円
(12.2%)

町債
78,888円
(10.3%)

地方交付税
403,687円
(52.6%)

町民1人あたり
767,844円

町長施政方針より (抜粋)

平成十年度一般会計当初予算は四十億八千八百万円となり、前年度当初比〇・五％増となります。歳入について町税が七・三％、地方交付税が五二・六％、起債が一〇・三％になります。過疎債がなかなかとりずらくなってきました。減債基金、財政調整基金の繰り入れが一億七千万円になります。補正で考えられる大きなものは町営住宅整備事業などがあります。

七つの特別会計の合計では二十六億三千万になります。

まず国民健康保険事業勘定特別会計は、四億七千四百万円で昨年は七・五％のマイナスであります。これは法の改正があり、一時雇用であっても社会保険に加入することが義務づけられたため、国保の加入者がそちらに移ったことなども要因と考えられます。

老人保健医療事業特別会計は七億二千四百万円であり、昨年比二・一％の増ということになります。医療費の一部負担の影響がどの程度出るのか未知数でもあります。

簡易水道事業特別会計は三億七千二百万円で、昨年比四一・六％の増となりますが、これは

老朽管の取り替え工事が本格化していくことのためであります。工区は第一配水池からボツメキ水源にむかって、向田から智者鶴、黒淵から地下ノ沢等であり、その他は下水道と関連しての工事であります。

農業集落排水事業特別会計は、七億八千百万円であります。今年は寺田、湯出野から横山にかけてと中学校から館合新田にかけての管渠工事になります。

なお新町から下通りにかけての区域は、七月には供用が開始できるスケジュールになっております。混乱のないように手順をしっかりと決めていかなければなりません。

また条例を改正して水道係を建設課に移し、上下の水の管理を一元化します。また下水道関連の利用料を含む条例制定もお願いしているところでもあります。

特別養護老人ホーム東光苑特別会計は、二億五千六百万円であります。開設以来十三年目にはいりますが、いよいよ繰り越し金もなくなり一般会計からの繰り出しというこ

平成10年度

一般、特別会計予算のあらまし

町の台所は 一人あたり

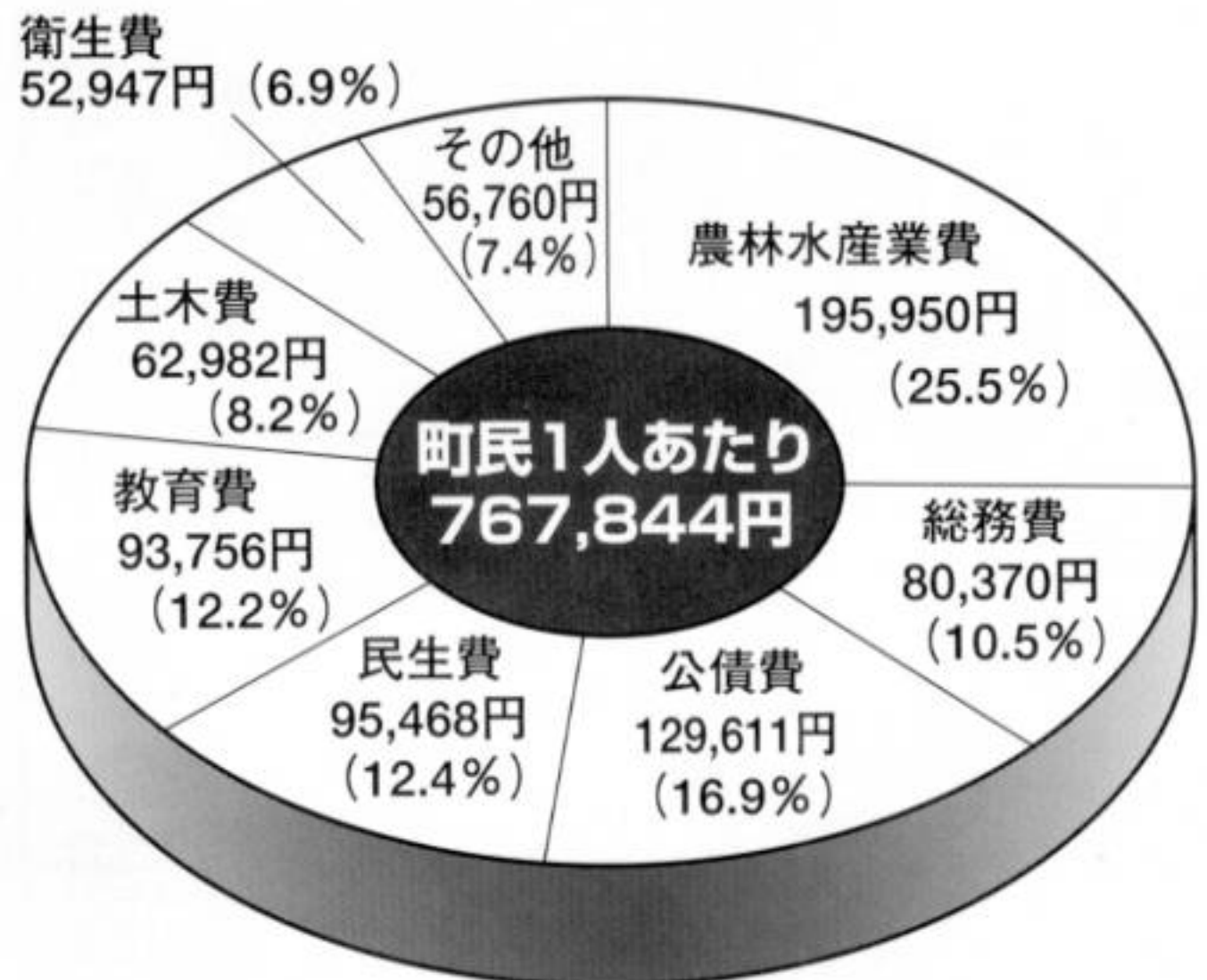
一般会計歳出 40億8800万円

一般会計（歳出）

歳出

(単位：千円／△：減)

項 目	本年度当初予算	前年度当初予算	増 減 額
議 会 費	89,188	88,706	482
総 務 費	427,892	729,658	△301,766
民 生 費	508,270	424,987	83,283
衛 生 費	281,888	242,182	39,706
労 働 費	9,313	9,770	△457
農 林 水 産 業 費	1,043,239	1,063,749	△ 20,510
商 工 費	19,469	22,356	△ 2,887
土 木 費	335,317	273,123	62,194
消 防 費	172,192	160,352	11,840
教 育 費	499,157	397,806	101,351
災 害 復 旧 費	1,332	3	1,329
公 債 費	690,047	653,590	36,457
諸 支 出 金	7,696	101	7,595
予 備 費	3,000	3,000	0
合 計	4,088,000	4,069,383	18,617



特別会計予算 26億3000万円

(単位：千円／△：減)

項 目	本年度当初予算	前年度当初予算	増減率 (%)
国民健康保険	474,302	512,993	△ 7.5
老人保健	724,322	709,485	2.1
簡易水道	372,401	262,995	41.6
農業集落排水	781,635	844,952	△ 7.5
特別養護老人ホーム	256,896	246,993	4.0
大平スキー場	20,306	21,281	△ 4.6
玉米財産区	572	786	△27.2
合 計	2,630,434	2,599,485	1.2

とになります。在宅介護支援センター、デイサービスセンター、いちょう館の設置があり、これまで先延ばしができたことですが、いよいよ繰り出しという事態になってきました。施設の老朽化もめだつてきましたが、大規模改修基準が十五年というところで、我慢できるものについてはいは我慢して行かなければなりません。

大平スキー場運営費特別会計は、毎年のように一番営業成績が期待できる暮れから正月にかけて雪がありません。結果としてなかなか一般持ち出しが減らないということになります。

しかし国道一〇七号そばのファミリースキー場としての役割もあることであり、短期間ではありますが臨時雇用のみならず、皆さんも精一杯やってくれます。

玉米財産区特別会計は特別な事業もなく、管理費が主なるものであります。

本年度行う主な事業

～町長施政方針より(抜粋)

地域産業発展を目指した農村づくり

●県営圃場整備事業関係●

葎沢地区圃場整備▼ウルグアイ・ラウンド補正と併せて十分な予算措置ができました。生産調整の集中期間の二か年と併せて全面休耕をお願いをしての圃場整備になって行きます。完了まで三か年の事業になります。

●畜産環境整備事業関係●

草地再墾▼畜産公社による朴の木沢と大台草地の再墾を予定しています。また畜産再

編総合対策事業では縣案のラッピングマシン二台の導入を予定いたしました。この導入により梅雨期も計画どおりの草地管理ができていきます。農家負担が四〇%という事業になります。

●出羽丘陵開発事業関係●

利子補給▼このたび十か町の合同陳情が功を奏して十年度から利子補給を受けられることになりました。県と同率の利子補給をして参りたく思っているところがあります。

●農場関係●

実験農場▼平成四年度からの事業でしたがひと先ず十年度で撤収と致したく思います。数々の農産物の試作及び実証作目の試験をしてきたところです。一応の成果を収めたところであります。

●林道地域総合整備事業●

フォレストアメニティ整備事業▼総事業費約七億円、平成十三年度までの計画となっております。

主な事業内容は、林道二路線、アクセス林道一路線、八塩いこいの森施設整備(トイレ、駐車場、防犯灯、休憩施設、運動施設、花木植栽)一式、東

由利水道からダム周辺への用水施設一式で、平成十三年度までの計画であります。

平成十年度は、アクセス林道の未改良部分(ダムの堤体まで)の改良、同路線の全線舗装、用水施設未実施分の工事、さらにトイレ一棟を計画しており、県道からダムの堤体までは、全幅七メートルの舗装道路が完成する予定であります。

八塩ダムについては底樋用のトンネルも完成して十年度には内張り作業に入ると聞いております。残念ながら今年も秋の水面に映える紅葉を見る事ができないこととなります。完成は十二年度になる予定です。

住みよい生活を目指した生活環境づくり

●分譲宅地関係●

大琴分譲宅地整備事業▼

早ければこの秋にも分譲ができることとなります。大琴地区の街づくりの核になっていければとも考えるものです。区画は十五前後、一区画百二十坪から百五十坪くらいにしたとらと考えているところでもあります。単価については周辺の町村と比べてという従来の考え方ではなく、本荘市との関連で考えていくべきだと思います。

●福祉関係●

ケアサービス体制支援事業▼平成十二年四月一日から介護保険が始まるのであります。それに向けてのモデル事業が始まります。ケアサービス体制支援事業であります。いろいろな心配な所がありますが待ったなしの介護保険事業であります。十二年にスムーズに移行ができますように態勢を整えて行かなければなりません。

敬老会▼対象年齢を七十三歳まで引き上げたいと思います。ただし、古稀のお祝いは敬老会の中でやれればと考えているところがあります。

●消防・防災関係●

消防団▼人員の減は消防機材の機能アップにより埋めていかなければなりません。短期間で老朽機材の更新を図って参ります。平成十年度には三台ほどの更新を予定しているところであり、防火用水の設置については今年は見送りたく思います。消防団緊急伝達装置チャイムは船木地区を予定致しました。

老方駐在所移転▼本荘警察署から十一年度をメドに老方駐在所を移転したいとの相談がありました。現在の場所では位置もわるく警察官住宅二世帯には狭いという事でありましたので、相

談の結果、国道に近い位置に適地を見つけて行くことになりましたので用地の予算措置をしたところでもあります。等価交換ということになって行きます。

●交通関係●

由利組合病院經由バス▼四月より、午後二時半頃の黒瀨行きも運行が出来るようであります。また、両前寺の停留所に急行バスが止まることも決まったようです。

●下水道事業関係●

終末処理場▼九年度外構工事を残して順調に工事が進み、四月以降に機械の調整等を行い、本格運転に向け七月頃に完成するスケジュールにあります。

活き活きとした町づくりのため

地域の文化発展を目指した教育環境づくり

●環境づくり関係●

町民プール▼これは中学校のプールの老朽化更新から発展させたものであります。中学校が一番利用しやすい形のプールにしていきたいことから、利用率を考えてオフシーズンには屋根を取り外せる形の屋根付を考えたところであります。

二か年事業で来年の夏にはオープンできるようにしていければと考えるものです。また、関連して自転車置き場の移転を考えなければなりません。

●文化関係●

郷土の野草▼小松忠正先生には広報ひがしゆりに「郷土の野草」を連載していただいているところですが、これを一冊にまとめて保存版として刊行したいと計画したところです。東由利町にとっていい宝物になります。

旧館前学校（旧玉米役場）の三階建▼文化財としての価値は大きいものと思いますが、そのまま保存ということでは木造建築物としては限界にきていることです。難しいことでもあります。

多少の時間をかけて議論をしてみたいと思います。とりあえず今年、正確な図面どりをしてみたいと思います。

●教育関係●

本庄高校下郷分校▼今年創立五十周年を迎えます。五十年にもわたり、わが町において大変な数の人材を育成して来たことであり、きつちりと記念事業をしていただきたく助成をさせていただきます。

県立大学▼本荘市に平成十一年開業を目指して建設が進んでいることではありますが、地域の大学として私たちも

大きな期待を寄せているところです。

これに付随して研究センター施設を造るといことはご承知の事と思います。

これに対し、官民上げての支援措置として基金を造成するということになり、行政でも由利郡本荘市で四億円をということになりました。由利郡十町で一億円ということでもあります。我が町では平等割人口割で七百六十万ほどの出資金になります。これを五年間でということになります。

外国語指導助手▼ミッシェルさんも在任三年になりますが今年任期ということ。ご夫婦で来られて町のいろいろな行事にも積極的に参加していただき、大変にいい影響を残してくださりました。お礼を申し上げます。

地域間交流を目指した生活道路網づくり

●町道関係●

両前寺線▼県との協議で両前寺の交差点の改良工事をいたします。横手側本荘側それぞれに右折車線がつき歩道もついた改良になります。

宇戸坂滝ノ沢線▼改良舗装をして参ります。館合バイパスが開通したことによりこの線がみどり保育園の通園道路になっていきます。

●農道関係●

両前寺地区農道▼土地総でできなかった部分を中山間事

業で改良完成の見込みです。

団体営農道▼四路線（アクト二期、小田、新処、明通地区）を継続して整備する計画であります。

●林道関係●

ふるさと林道整備事業三ツ森山線▼平成十年度で茂沢集落と元倉集落がつながります。平成十一年度に舗装工事が完成し、本町分全線開通の予定であります。雄物川町分は、平成十四年度の完成予定となっています。

湯出野線▼林道として十年度採択になり路線測量、用地買収として一部工事に入れるかという見込みです。

●国県道関係●

特殊改良一種工事一〇七号板戸工区▼第一工区に計画している百七十八メートルのトンネルのうち、百五メートルについて、掘削巻立工事が行われる予定です。

神岡南外東由利線・岩館バイパス工事▼生活圏三十分形成道路整備として、平成九年に事業着手しましたが、本年は橋梁詳細設計、用地測量を実施し、それに伴い用地買収と畦畔工が行われる見通しです。

横手東由利線笹倉トンネルの改修▼平成九年度から防水工事を含めた巻立工事と路面の側溝改良を含めた改修が

進められています。本トンネルは全長百九十六メートルで、平成九年度に七十四メートル実施しており、本年度は百二十二メートルを行い、全面改修が完了する見込みです。

仁賀保矢島館合線▼矢島境でありますが、砂利道の軽井沢林道部分を町道にしたところです。

羽後向田館合線▼集落をどう抜けるかということをお願いしておりますが、最初と状況が違って来ているので見直しをしているところでもあります。

河川公園▼十年度には旧国道側に桜など一部植栽ができるようになると思います。

雪害事業▼冬期間の吹雪でふきだまの発生しやすい両前寺地内に防雪柵四百メートルが設置される見通しです。

町長行政報告

板戸採土場の 跡地整備が終わる

平成元年から行われていた境地内町有地の採土が平成八年度で終了、本年度は採土跡地整理の残工事が行われていたところでありましたが、去る一月六日付けで平鹿農林事務所長から完了届けが提出されました。

採土跡地については二次災害の防止対策として沈砂池設置二箇所、延長一キロメートルの排水路が設置されたほか、全面的に種子吹付緑化による法面保護工事が行われたところであります。

町有地使用箇所の 実態調査始まる

昭和六十一年から着手した地積調査の過程において、町有地の使用が明らかにになった箇所について、処理の検討作業を開始しております。

具体的には、集成図と地籍図が完成している平成六年度までの該当箇所について、筆毎のリストを作成、昨年から総務課、税務課、産業課の連携のもとに、現地の実

態調査を実施し、検討を開始しました。

携帯電話基地局 盆前に供用開始の予定

N T T東北移動通信網株式会社
の携帯電話・自動車電話用無線基地局の本町への建設について、同社から正式な建設用地の借用申し込みがありました。

順調に進行すれば本年の盆前に供用開始が可能になるものと期待されています。

万全の体勢で臨んだ 雪対策

暖冬といわれた今冬、一月二十八日のピーク時で積雪量が、百二十センチとなりました。

町では、消防施設の点検や要援護老人世帯の安否の確認をするともに、役場通信を通じて屋根の雪下ろしと事故防止の呼びかけをしました。

隣接町では、豪雪対策本部を設置した町もありますが、本町では関係機関と連携し、通常の体勢で対応を図ったところです。

お食事処「やしお」 各種賞に輝く

平成六、七年度に農業農村活性化農業構造改善事業で実施した産地形成促進施設（お食事処やしお）が、昨年十月三十日に秋田県の推薦を受け、東北農政局長賞を受賞していたところでありましたが、さらに東北地区の推薦を受け、三月十二日、国レベルの全国農業構造改善協会功労賞を受賞することになりました。

効果的な活動に評価 冬期ホームヘルパー

安心して冬期間を過ごしていたために、町では社会福祉協議会に委託して、冬期間だけの男性ホームヘルパー二人を増員して、ホームヘルプ活動を行いました。四人の常勤ヘルパーと有機的に活動を行ったことで、より効果的なホームヘルプ活動ができたという自己評価をしたところであります。

三歳未満児の 入園者増える

永慶保育園の定数が九十人、みどり保育園の定数が六十人ですが、入園申し込み予定者は、永慶保育園が八十五人、みどり保育園

が五十七人の予定となっております。また、三歳未満児が増えています。

基本検診は 千九百人が受診

町では、生活習慣病を予防するため本年度も各種検診事業を行って来しました。

受診の状況は、基本検診は千九百四人の受診で、受診率七五・二%、胃検診は八百九十一人の受診で受診率三八・八%、子宮ガン検診については四百一人の受診で受診率二六・六%、乳ガン検診については四百十四人、大腸ガンについては八百八十六人の受診、結核検診については、二千二百三十三人の受診となっております。

平成十一年度 本町で県植樹祭が開催

平成十一年度秋田県植樹祭について、三月十三日付で社団法人秋田県緑化推進委員会から本町を開催地に決定した旨の正式通知が寄せられました。

全県下から約千人もの関係者を迎え入



れて行う第五十回という節目になるだけに、成功裏に実施できますようご支援、ご協力をお願い申し上げます。

「さくら功労者」として 本町が表彰される

このほど財団法人日本さくらの会から、平成十年度の「さくら功労者」として本町を表彰することに決定した旨の通知をいただきました。

これは、八塩いこいの森に桜を植栽し、それを守り続けてこられた先人各位の業績はもとより、誠心誠意これの育成に取り組んでこられた八塩山麓会の皆さんを始めとする、関係各位に対する評価の集積であったと、喜びを大きくしているところであります。

平成九年度の稲作 やや良との結果

平成九年度水稲収穫量は十アールあたり五百六十七キログラム、作況指数一〇二、やや良、作付面積九百二十ヘクタール、収穫量五千二百二十トンとなっております。

一般質問

◆一部抜粋

中西蔵之助議員

問・産業道路整備事業費の大幅な増額を。

答・五百万円に対応したい。

問・畜産再編総合対策事業の主な内容は。

答・ラッピングマシンやロールペーラーなどを考えている。積極的に支援していきたい。

問・ゴールドプランと介護保険について整合性は。

答・状況をみていきたい。

問・在宅介護支援センター、シヨートステイの利用状況は。

答・登録者百六十人で、平均一日十八・五人の利用状況。

問・両前寺線の進捗状況と今後について。

答・国道から県道横手東由利線につながるものがメイン。今年は一〇七号交差点改良。今後については白紙。

問・分譲宅地整備事業について

て、価格、面積など発注前に再検討を
答・横並びの価格でなく、設定したい。面積については適当では。

問・町民プール建設計画再考を

答・基本は中学校プール。町民プールとして町民も利用できるよう考えている。

問・八塩地区開発事業計画について

答・各分野の専門家と検討会を実施している。冬期間の利用については今後の課題である。

問・役場庁舎建設について用地取得が急務では

答・準備体操はしている。町村合併問題なども考慮しながら考えていきたい。

問・本荘高校下郷分校存続を願う

答・子どもたちの将来を考えながら、関係者で検討し、総論から各論にもっていききたい。

問・旧館前小建物の永久保存を

答・文化的価値は別として、建物としては限界である。正確な図面を残したいと考え、農協に解体を待ってもらっている。

問・消費税を納入している店は
何店あるのか

答・消費税納税義務店は、個人で二十七店、法人で十六店ある。

小野健議員

問・国の来年度予算案でくらしと景気が回復するのか

答・国でも混乱している予算案であるが、我々の願いである景気回復を期待したい。

問・自治体独自の転作作物の条件整備の考えは

答・様々な事業等で何か出来ないかと考えている。提案を願いたい。

問・新農業基本法が制定されようとしているが、農家の思いが反映されていない。

答・現状を把握しながら、我々の立場で頑張っていきたい。

問・減反強化が進む中、町でできるだけの援助を

答・町としてしっかり支えたい。

問・三年後の米飯給食補助打ち

答・切りに対し、町の補助の考えは
答・米飯給食の意味を考えながら、どのような方法がいいか時間をかけて議論したい。

可決された主な議案について

■議案第十七号 中山間地域総合整備事業に係る農道整備事業の施行について
平成十年度から平成十三年度まで次の事業が行われる予定です。

●農道両前寺（事業量…三八〇メートル）

●農道四ツ眼（事業量…二二〇メートル）

■議案第二十七号 町道の認定について
道路法に基づき、町道の路線を認定するものです。

軽井沢一号（起点…黒淵字中大平七十八番地先・終点…黒淵字山岸八十二番地先）

■議案第二十八号 町道の路線変更について
県道仁賀保矢島館合線・館合バイパスが開通したことにもなつて、町道五海保線の終点が変更になりました。（館合字向田三二番地から館合字向田一〇一番地先へ変更）

■議案第三十号 東由利町課設置条例の一部を改正する条例
国民健康保険及び国民年金に関

する仕事福祉課から町民課に、水道事業に関する仕事町民課から建設課にそれぞれうつります。

■議案第三十四号 東由利町固定資産評価審査委員会委員の選任について
畠山忠治氏（中通）が同委員に選任されました。

農業委員会委員一般選挙の日程について

三月二十四日開催の選挙管理委員会において、東由利町農業委員会委員一般選挙の日程が次のように決定されました。

投票日

四月二十六日（日）

告示日

四月二十一日（火）

国保特集

町民課・国保係



勤め先の健康保険に加入したら 国保の脱退手続きをしましょう

役場では、国保の加入者が会社や官公庁に就職し、職場の健康保険に加入しても、そのことは全くわかりません。

また反対に職場の健康保険を脱退し、国保に入らなければならぬ人もわかりません。

役場や社会保険事務所が、健康保険の異動をすべて把握し、自動的に切りかわると思っている人が多くいますが、それは間違いです。職場の健康保険に加入したら、その保険証と国保の保険証を持って役場国保係で国保をやめる手続きをとってください。おこたるといろいろやっかひになります。

国保をやめる手続きをしないままにしておくと、いつまでも国保税がかかっていきます。

出稼ぎ先で職場の健康保険に入った場合も同じです。早めに役場

国保係に届け出てください。

■届け出に必要なもの

- 一、国民健康保険証
- 二、社会保険証
- 三、印鑑



保険証が変わったら、役場だけ

でなく、いまかかっているお医者さんの窓口へ届け出てください。

そうしないと、資格のない健康保険でかかったことになり、あとからこの分を前の保険に現金で返

さなければならなくなります。多額ですといろいろ面倒なことがおきてきます。

老人医療のお年寄りも同じです。忘れずに、老人の医療受給者証と保険証の両方をお医者さんの窓口に出して下さい。

■保険証を提示しない場合

例えば、あなたが国保から社会保険へ変わったのに、お医者さんの窓口へ保険証を提示しないと、医療費が総額で一万円の場合、あなたがお医者さんの窓口で支払う三割相当分は三千円、健康保険支払分は七千円です。

この七千円分について、あなたがお医者さんの窓口で健康保険証を提示し、それを確認してお医者さんの方で、各保険者（国保、社会保険、共済組合等）へ請求します。ですから、あなたが加入保険が変わったのに、健康保険証を提示しないと、お医者さんは間違った保険者の方へ請求してしまうことになります。この七千円分について、場合によりあなた自身が負担しなければならぬことになります。

医療費は大切に 使いましょう

◎転医をひかえよう

ちよつと病気が長びくからと、次から次へと転医したり、一つの病気で二人も三人ものお医者さんにかかる人がいます。

転医すると、初診から始まって、どこも同じような検査をくり返すわけで、医療費の大変な無駄づかいにつながります。かかっているお医者さんを信じてすべてをまかせましょう。

◎緊急時以外は、休日、深夜、時間外受診を避ける

休日、深夜、時間外に受診すると、割増料金がかかります。やむを得ない場合以外はやめましょう。

◎早期発見を心がけよう

むずかしい病気でも早期に見し、早期に治療すれば、たいい治ります。早期発見のため、健康診断をうけましょう。

◎からだに抵抗力をつけよう

バランスのとれた栄養、適度の運動、十分な睡眠と休養が何より大切です。

保険証が変わったら医療機関に提示を 変わらない人も一か月に一度提示をお願いします

退職者医療制度について

長い間会社や役所に勤めて、退職してから国保に加入し、年金を受けている七十歳未満の人、およびその家族は「退職者医療制度」による医療を受けることになります。

●対象となる人は

次の条件すべてを満たす方（退職被保険者本人）とその被扶養者が対象となります。

①国民健康保険に加入している。

②老人保健法の適用を受けていない。

③厚生年金や船員保険、共済組合などの被用者年金の老齢（退職）年金を受けている人で、年金保険の被保険者等の期間が二十年以上であるか、または、被用者年金制度に四十歳以後に十年以上加入して、通算老齢（退職）年金を受けている人。



●お医者さんにかかるときは

窓口で「国民健康保険退職被保険証」を提出して受診します。一部負担金は次のとおりです。

▼退職被保険者（本人）

外来・二割自己負担／八割給付

入院・二割自己負担／八割給付

▼被保険者（家族）

外来・三割自己負担／七割給付

入院・二割自己負担／八割給付

●被扶養者とは

退職被保険者本人と生活をともにし、退職被保険者本人の収入によって生計を維持している次の方。【ただし、年間収入が百三十万円（六十歳以上は百八十万円）以上ある方は被扶養者になれません。】

【退職者医療制度のくわしいことは、役場国保係へおたずねください】

Q. 高額な治療が続いた時には？ A. 高額療養費の支給があります

①被保険者が保険で診療を受け、同じ月内に同じ病院に支払った医療費が六万三千六百円（町民税非課税世帯は三万五千四百円）を超えた場合、申請すると後日超えた分の医療費が支給されます。ただし、同じ病院でも入院と外来、総合病院の外来の場合には各診療科をそれぞれ別の病院として扱います。（入院時の食事代は対象になりません）

②同じ世帯で、月に支払った医療費が三万円（町民税非課税世帯は二万一千円）を超える人が二人以上いる場合は、合計して六万三千六百円を超えた分が支給されます。

高額医療資金の貸付

町では、高額な医療費の支払いにお困りの方、一時的に高額医療費の支払いが困難な方に、高額療養費の八十パーセント以内を無利子でお貸しする制度もあります。

簡単な手続きで利用できますので、ご希望の方は役場国保係までお申し込みを。

（電話・六九一二二一七）



▼貸し付けを利用できる方

町内に住所を有し、高額療養費の支給対象となる方。

▼貸し付け額

高額療養費支給見込み額八十パーセント以内

▼手続きに必要なもの

①医療費の請求書②保険証③印鑑

なお、返済は高額療養費の支給を受けた時にしていただきます。

年金だより

受給者サービス向上のため 現況届を提出するとき 町長の証明が必要なくなりました

今年の一月から受給者サービスの向上のため、現況届を提出するときの町長の証明が必要なくなりました。

現況届は、年金の受給を始めから二年目の誕生日から毎年、提出することになっています。

これは、年金支給を適正にするため、法律に基づき、生存の状況、就労の状況、障害の状況などを確認している制度です。このうち、生存の状況の確認については、これまで町長の証明が必要でした。

しかし、高齢受給者が増加する中で、毎年町役場の窓口まで出向くことについて、その負担に配慮する必要が生じてきました。

そこで今回、受給者サービスの向上や行政事務の簡素、効率化を図るため、生存にかかわる町長の証明を廃止し、受給者本人が自署して生存を申し立てればよいことになりました。この場合、ご本人が署名することが困難な方は、家族、民生委員、

町内会長、施設入所時の施設長などの代理人による署名となります。

なお、この証明事務の廃止は今年の一月から、つまり一月生まれの方から実施されています。お問い合わせは役場年金係へ。

平成10年4月から 国民年金保険料額が変わります

国民年金保険料は、
月額13,300円になります。
(付加保険料納付者は
月額13,700円です)
※前納制度もあります。



水道だより

家庭の給水装置工事が 規制緩和されます

東由利町の給水条例がこのたびの三月定例議会で改正されました。これにより今年四月から、家庭の水道工事(給水装置工事)をする際、水道管・蛇口などの材料や工法の選択範囲が広がり、工事の検査方法なども一部変わります。

●給水装置工事をするときは？

四月から、今までの水道工事指定店が「指定給水装置工事業者」(指定工事業者)になりますので、個々に申し込んでください。また、指定要件が緩和され新しい業者が増えます。

●材料や工法はどうなるの？

今までは、道路内の配水管取付口から家の蛇口まで、すべての材料や工法を役場で指定していましたが、四月から水道メーターから蛇口までの材料や工法は、国の基準に適合したものであれば、工事申込者と指定工事業者が相談して決めることができるようになります。

なお、配水管取付口から水道メーターまでの材料や工法は、災害時の復旧などを考慮、これ

までどおり役場で指定します。

●工事の検査は？

指定工事業者には、「給水装置工事主任技術者」がおり、水道工事の設計や施工管理を行い、工事竣工時に工事検査表に基づいて検査をします。役場では指定工事業者に、工事検査表と竣工図書を給水申込者に提出することを義務づけます。役場が行う検査は配水管からメーターまでの部分ですが、当面はメーター以降についても部分的に抜き取り検査をします。

●故障などの修理は？

今までどおり、個々に指定工事業者を選んで依頼することになります。蛇口やパッキンなどは自分で取り替えもできます。問い合わせは役場水道係へ。

わが町の指標

2回

■性比・十一位

(九十三・七人)

●参考●一位・大

湯村(百三・八人)、

六十九位・神岡町

(八十五・三人)

●参考●一位・金浦町

(十五・七人)、六十九位・大湯村

(五・四人)

●参考●一位・阿仁町・上小阿

仁村(四十九・六歳)、六十九

位・大湯村(三十七・六歳)

※各地域の住民の年齢を合計、

総人口で割り返したものです。

(平成二・七年度国勢調査報告)

■出生率(人口千人当たり)・

五十八位(六・三人) ■

●参考●一位・阿仁町・上小阿仁村(四十九・六歳)、六十九位・大湯村(三十七・六歳)
※各地域の住民の年齢を合計、総人口で割り返したものです。
(平成二・七年度国勢調査報告)

●出生率(人口千人当たり)・五十八位(六・三人) ■
●参考●一位・大湯村(十二・七人)、六十九位・阿仁町(四・九人)

※一年間の出生数の人口千人に対する比率です。
(平成七年度秋田県衛生統計年鑑・下巻)



■死亡率(人口千人当たり)・

十七位(十一・二人) ■

●参考●一位・金浦町

(十五・七人)、六十九位・大湯村

(五・四人)

●参考●一位・阿仁町・上小阿

仁村(四十九・六歳)、六十九

位・大湯村(三十七・六歳)

※各地域の住民の年齢を合計、

総人口で割り返したものです。

(平成七年度秋田県衛生統計年鑑・下巻)

秋田県統計協会発行「わがまちわがむら百の指標」より抜粋して紹介しています。

雪残る八塩で遊ぼう

第四回「やしお元気まつり」

三月一日、八塩いこいの森駐車場において、毎年恒例の「やしお元気まつり」が行われました。

春を前に「黄桜まつり」以外にも八塩で楽しむことはできないかと始まったこの催し。冬期間の八塩の魅力にふれてみよう、親子連れを中心に百人あまりが参加しました。

恒例のスノーモービル無料試乗会、同マイペースレースを中心に、かんじき競争、生たまごキャッチ、ペットボトル打ち上げなどを楽しみました。また雪中宝さがしは親子ともども歓声をあげて参加していました。



▲初めてのスノーモービル体験



▲かんじき競争では履き方の指導も



▲皆が雪中宝さがしを楽しんだ



▲汗だくになったそり乗り遊び

春は雪解けと共に空気が乾燥して山火事が発生し易くなります。

本町では昨年五月に山火事があり、消し止めたと思っただけで再び燃え出して森林火災の恐ろしさを知りました。

森林火災の出火原因は、たき火やタバコなどの火の不始末によるものが過半数を占めています。

森林火災の種類には、地表火、樹冠火、樹幹火、地中火の四つがあります。

林業だより 森林火災

地表火は地表の落葉、落枝、枯れ草や生草、低木類が燃えるもので、森林火災中最も多く発生しています。火勢が強くなると、枝葉が燃える樹冠火や大木の空洞が燃える樹幹火に移行します。地中火は、堆積した枝葉の堆積層が燃えるもので、地中でくすぶりながら思わぬところで火の手があらわれます。

山火事は、この四種類が重なり合って燃え広がるのです。みんなで森林火災の防止に努め、緑の財産を守りましょう。

(町林業懇話会長

佐藤恒悦氏)

三月家畜市場

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
去勢	49	295kg	380,850	1,223
雌	25	277kg	313,404	1,074
合計	74	289kg	358,064	1,173

●最高金額 去勢 616,350 北国7の8 紋次郎 糸光
●最高金額 雌 583,800 北国7の8 福谷1 益美

木材共販市況

(平成十年三月・平均価格)
四五年生〜五五年生

径級	単価/石	備考
直材30cm上	—	
同24~28cm	5,100~5,200円	乾燥材5,300円
同14~22cm	4,800円	
同14~22cm	5,000円	乾燥材
同13cm下	2,500~3,000円	
曲り材	2,000~3,000円	

乾燥材には数口の手当が入った程度。材の動きは全くなし。材の生産調整を余儀なくされている。

スポーツ、文化の功績を称える

平成九年度 スポーツ栄誉賞 芸術文化奨励賞 表彰式

「スポーツ、芸術、文化において功績があった町民の方々を称えよう」と、三月四日、有鄰館においてスポーツ栄誉賞および、芸術文化奨励賞の表彰式が行われました。

この日、スポーツ栄誉賞には個人が、功労賞には二氏が表彰を受けました。

式では受賞者を代表して、石渡力造氏が「より一層、町の活力となれるよう誠心誠意がんばる」とあいさつしました。

表彰をうけた方は次のとおりです。



東由利町スポーツ栄誉賞 (敬称略)

〔個人の部〕

- 高橋将也 (館合新田・東由利町スキースポーツ少年団)
- ・第二回本荘市由利郡スポーツ少年団種目別交流会スキー競技 四年男子大回転 第一位
- 遠藤眞吉 (新処・東由利町スキースポーツ少年団)
- ・第二回本荘市由利郡スポーツ少年団種目別

- 交流会スキー競技 四年女子大回転 第一位
- 伊東健司 (蔵・高瀬小)
- ・第二回本荘市由利郡小学生水泳交流会 五年男子五十メートルバタフライ 第一位
- 小松裕介 (上通・東由利中)
- ・第四十一回秋田県中学校スキー大会 男子大回転 第一位
- ・第四十一回本荘市由利郡中学校スキー競技大会 男子大回転 第一位
- ・第三十四回東北中学校スキー大会 男子大回転 第三位
- 鈴木祐介 (大琴・東由利中)
- ・第五十一回本荘市由利郡中学校陸上競技大会 男子四百メートル 第一位
- ・同 男子八百メートルリレー 第一位
- 畑山裕美 (島・本荘高)
- ・第二回東北高等学校秋季陸上競技選手権大会 女子八百メートル 第一位
- ・第四十三回秋田県高等学校総合体育大会 駅伝競争大会女子 第一位
- ・女子第八回東北高等学校駅伝競争大会 第二位
- 阿部誠 (蔵新田)

・第五十三回国民体育大会冬季大会スケート競技会 成年男子B秋田県代表

- 小野信弘 (高屋・東由利中)、佐藤力 (寺田・同)、佐藤真二 (袖山・同)
- ・第五十一回本荘市由利郡中学校陸上競技大会 男子八百メートルリレー 第一位
- 横山亜由子 (向田・由利高)
- ・第四十三回秋田県高等学校総合体育大会 バレーボール競技女子 第二位
- ・平成九年度第三十三回NHK杯東北高等学校バレーボール選手権大会 第三位

- 伊東恵合子 (岩館・本荘高)、阿部功子 (同)・第四十回秋田県高等学校体育連盟中央支部総合体育大会 登山競技女子 第一位

〔団体の部〕

- 東由利中学校陸上部男子
- ・第五十一回本荘市由利郡中学校陸上競技大会 男子総合 優勝
- 東由利町スキースポーツ少年団女子チーム
- ・第二回本荘市由利郡スポーツ少年団種目別交流会スキー競技 総合女子団体 優勝

〔功労賞〕

- 大沼武且 (蔵新田)
- 昭和五十九年四月から平成九年

三月までの十三年間、本町体育協会長として、本町スポーツの振興、充実に尽力した。

- 大平スキースクール (校長 石綿喜代隆)

昭和五十三年十二月開校。現在に至るまで数々のスキー教室を開催し、本町のみならず、本荘市由利郡の先駆として、スキー技術の向上に尽力している。

東由利町芸術文化奨励賞 (敬称略)

- 小松幸子 (中通)
- ・第三十九回秋田県美術展覧会 工芸の部 入選
- 八嶋保 (上通)
- ・第三十九回秋田県美術展覧会 写真の部 入選
- 佐々木隆義 (大琴)
- ・第三十九回秋田県美術展覧会 写真の部 入選

芸術文化功労賞 (敬称略)

- 石渡力造 (蔵新田)
- 紙芝居・昔話など町内各行事での発表はもとより、町外からも依頼されて発表している。
- 遠藤眞吉 (新処)
- 長年に渡り、民謡活動を通し、芸術文化に対し寄与した。

たびだち

それぞれの新しい出発

祝・卒業

今年も町内の各学校で卒業式が行われました。卒業生は、様々な思いを秘めつつ、在校生のあたたかい拍手に送られ、長い時間を過ごした学校に別れを告げました。各小中学校の卒業式を写真で紹介。



▲それぞれの道を歩きだした卒業生（東由利中学校）



▲在校生による胴上げで卒業（東由利中学校）



▲先生から最後の贈り物（八塩小学校）



▲校長先生から卒業証書を受け取る児童（高瀬小学校）



▲在校生から卒業生に花のプレゼント（大琴小学校）

今年小学校入学のみなさん
合計・三十九人（敬称略）

八塩小（十九人）

遠藤 樹	小野 一尊	佐野 和也	菊地 加奈	小松 春香	高橋 麻美	高橋 夕希	畑山 菜々	渡辺 満里奈	小松 詢也
遠藤 弘人	小野 成人	村上 皇	菊地 美樹	莊野 千秋	高橋 絵里	長谷山 裕子	渡辺 あかり	大塚 勇次	

高瀬小（十六人）

遠藤 航	小松 慧斗	佐藤 勇児	長谷山 峻之	阿部 咲子	阿部 奈津子	遠藤 恵美	小野 美咲	大琴小（四人）
小野 慎也	佐藤 和也	高橋 孝聖	畠山 健	森川 美由紀	伊東 聖美	遠藤 まどか	畠山 風花	小笠原 康人
								浅田 明美
								畠山 麻美



▲校長先生から1/2成人証書を受け取る児童

「半分」大人の仲間入り

大琴小1/2成人式

三月十六日大琴小学校で、四年生児童九人を対象に「1/2成人式」が行われ、四年の児童は佐藤テイ子校長から「1/2成人証書」を受け取りました。この式は満十歳になったことを一つの区切りとして祝いあう行事です。

児童たちはひとりひとりがそれぞれの夢を全校生徒の前で発表。また、成長を支えてくれた家族や先生などに感謝の気持ちを忘れず、心身ともに健康な生活をおくることを誓いました。



▲お世話になった柴田講師をかこみ記念写真

共に過ごした思い出を胸に

中学校寄宿舎閉舎式

三月十九日、東由利中学校冬期寄宿舎閉舎式が行われ、関係者らが出席、無事寄宿舎生活を終えたことを喜び合いました。

式ではひとつ屋根の下、協力し合い、一回りも二回りも大きくなった十四人の生徒を引っぱってきつた、柴田知志講師が最後のあいさつをしました。「共に過ごした思い出をいつまでも忘れない」との言葉に涙を見せた生徒もいて、しきりに別れを惜しみました。



▲完成した(株)トーホク自社展示施設

見学施設充実で町の活性化

中小企業基盤施設整備事業

この度、株式会社トーホクに自社製品展示施設が完成しました。この施設は見学設備を充実させ、同時に自社製品の紹介をしようとして設置されたものです。「訪れた方が少しでも箸などに興味を持っていただけたら」と同社では話しています。

この事業は町中小企業基盤施設整備事業を利用したものです。商業、製造業の活性化のための基盤整備に対し町が補助を行います。詳細は企画課商工観光係まで。



教育長から精勤賞の賞状を受ける佐々木チヨミさん

十年度も元気な参加を期待

ことぶき大学閉講式

三月十日、朋楽荘においてことぶき大学閉講式が行なわれました。ことぶき大学は老人たちの学びの場として親しまれてきているもの。この日三十三人に皆勤賞が、また精勤賞が三十四人に授与され、それぞれ小松作蔵さん、佐々木チヨミさんが代表で賞状を受け取りました。

九年度の累計参加者は千四百二十四人でした。十年度開講式は四月二十三日を予定しています。

町のあっち、こっちから

町と郵便局の協力体制、密に



▲町長と相互協力に関する覚書を交わした町内郵便局長

災害時の相互協力覚書

二月二十二日、老方郵便局長の谷山博昭局長、玉米郵便局の佐藤和直局長が役場を訪れ、阿部幸悦町長と災害時における町と町内郵便局との相互協力に関する覚書を交わしました。

災害時における覚書には、情報提供をはじめ、為替預貯金や簡易保険などの郵政事業を災害特別事務扱いとするほか、援護対策として必要に応じて応じて避難所に臨時郵便差し出し箱を設置したり、郵便局が管理する施設、用地を避難場所や救援物資の集積場所として提供することなどを盛り込んでいます。また、同時に町広報活動へ協力する覚書も交わしました。地域に密着した開かれた郵便局に対し、今後の活動が期待されます。

町と町内郵便局は、二月二十二日に役場で「災害時における相互協力に関する覚書」を締結、調印を交わしました。

この覚書は、地震その他災害時に避難先や被災状況に関する情報の相互提供などが盛り込まれております。

郵政省は、情報や安心、交流の活動拠点づくりを進める「郵便局ビジョン2010」を策定、その中で、各郵便局は安心の拠点づくりとして、立地する市町村と災害時における相互協力に関する覚書などを交わしています。

郵便局からのお知らせ

- ①平成10年2月2日から郵便番号7桁制が実施されました。ご協力の程お願いいたします。
- ②定型外郵便物の料金が引き下げられました。
- ③翌日10時までお届けしたい郵便物は「翌朝郵便」をご利用ください。東北地方は、ほとんどの地区が対象になります。

写真で紹介する町の出来事

青年交流バレーボール



3月8日に行なわれた青年交流スポーツ大会バレーボール決勝。優勝はJOYASERS (写真)。

スキー大回転で優勝



3月8日、猪苗代で行なわれたジュニアアルペンスキー東北決勝大会で高瀬小6年長沼敬晴くんが第一位に輝いた。

永慶保育園卒園式



3月25日に永慶保育園で卒園式が行われました。4月から小学生。期待に胸ふくらませていました。

標準賃金一万九千円に

町建設技能組合第38回定期総会

町建設技能組合(阿部悟組合長)の第三十八回定期総会が三月二十一日、大蔵館で行われ、標準賃金、任期満了による役員改選、平成十年度事業計画が決められました。

平成十年度の標準賃金は、前年より五百円引き上げられ、一万九千円に決められました。

任期満了による役員改選結果は次の通りです。(敬称略)

組合長・阿部悟(再任)

副組合長・佐藤正博(新任)

書記長・佐藤和彦(再任)

会計・遠藤憲一(新任)

東由利文化クラブ

お手紙紹介

「私は土建業に勤めています。つかれた時は夜が多いですが、『ゆらり』にいきます。とてもよいお湯で私にはとってもしよい湯です。毎日ブルドーザーなど使っていますのでつかれがとれます」

十文字町 佐々木重美さん

「私は春になると元横荘鉄道の道路を自転車で二、三回行きます。祝沢まで一時間三十分弱でつきます。狼沢から二井山のトンネルまでは歩いて、あとは祝沢までそのまま乗っていくのです。なんとなく、いい気分です。ふるさとに行くのです」

雄物川町 小野笑子さん



「三月四日、静岡テレビを見ておりましたら、ふる里の若い方たちが雪の上で野球をしていました。(注・ズームイン朝で本町の雪上野球大会が紹介されました)とても感激しました。十五年前、雪の中でお友達とゲートボールを一生懸命冷たいのも忘れてやったことを思い出しました」

静岡県 菊地朝子さん

「イメージキャラクターのモウ太くんは友達もいたらもっと楽しくなると思います」

山崎 長谷山善幸くん

「地吹雪が舞う土門橋を渡った幼年の頃、二月中旬にはかた雪を渡りました」

「私は『ふるさとむかしむかし』を読んでこう思いました。母牛はとつぜんあつけなく死んでしまい、のこされた子牛は母牛のお乳をほしがりさびしうにないたというところを読んで、なんてかわいそうなんだろう、母牛も子牛もわかれてしまつてかわいそうだなあと思いました」

島 嶽石春香さん

三月号東由利の文芸の『立春の日射し大地をふくらます』は如月から弥生(二月下旬から上旬)を総て表現する上手な発句で、ふるさとを離れて約六十年、大正、昭和初期時代の方々には印象深い季歳です」

西宮市 小野四郎さん

◆東由利の文芸◆

せせらぎ句会

反抗期自立とも云う春夕べ
涅槃西風先代あての封書着く
縄文の遺跡の里や遠霞
雲裏にうすき日輪猫やなぎ
春障子余る日差しに爪をきる
白酒や父母のことおぼろげに
東風の中切口乾く大丸太
日付古る雛箱の雛眼覚まさす

蔵新田 阿部 澄子
上里 小野石路子
湯出野 佐藤 正義
横渡 高橋ヒデ子
横小路 宮野源二郎
舟打場 高橋民治郎
高戸屋 小松 敏雄
下小路 小松 女沙

お手玉のひいふうみいよ山笑う
ときをりは流れをはじく猫柳
峡空へ罫目覚めし初音かな
点摘や窓辺の春を見送りぬ
雪解風血痕のこす削蹄場
雪崩あと露はや婿の三年忌
日だまりに造花爛漫彼岸市
待春や未舗装道の小粒石
囀りに心地よき夢覚めにけり
本流の中に激流猫柳
髪を梳く鏡の奥に春の色
せせらぎに音と光と露の蓋
足裏温き手乗りインコや春の霜
鳥雲にこくこくと減る哺乳瓶

時雨山 吉川 葉子
蔵新田 小笠原亮子
山崎 小松 良子
小倉 遠藤トミ子
久保 高橋 典三
船木 大庭喜右エ門
湯出野 菊地 常作
秋田市 嵯峨 義之
蔵新田 小笠原トミ
家ノ下 小松 正昭
蔵新田 小野 貞子
中通 小松順之助
下通 小松 忠正
五海保 嶽石 レイ

東北電力サテライトステーション廃止について

平成八年二月より、東北電力サテライトステーション(取次店)を、蔵のスズキデンキ店で行っておりましたが、平成十年三月三十一日で廃止になります。

四月一日以降の東北電力へのご用命は左記にお願いいたします。

東北電力(株)本荘営業所

電話・二二一四三三五

記



アイドルをさがせ!

遠藤優太くん(1歳)
お父さん:勝さん
お母さん:美樹さん

【新処】



優しい気持ちを持って、心から太く生きてほしいと願いながら、優太と命名しました。

性格は人なつこく、よその人がきても人みしりはないようです。

好きなものは、鳴る物です。音楽が聞こえると音に合わせて踊ります。食べ物なんでも食べますが、特にくだものが好物のようです。嫌いなものは特になくありません。

最近、知らないものが目に入るとすぐ口にいれてしまつて目離れできません。そういう時期だとは思いますが、家族の中ではおばあちゃんになつていてるようです。いなくなると探し回ります。

将来のことはまだ分かりませんが、普通に生きてくれればと思います。

お話し・美樹さん

童話を

あなたに

街に朝が来た。みんな起きるとトラックや車、馬や猫があかりとみどりのひかりでチカチカと光っていた。

大きな十字路では猛スピードで走ってくる車があかりひかりでとまれ！。猫が道路を渡ろうとする

のうさぎを見つけたねずみはとまれ！。街が静かにねむっている。暗闇のなかであかりとみどりのひかりはかわりばんこに光っている・・・。

あかとはとまれ、みどりはすすめ。町の中にはたくさんさんの車が通っています。小さな子どもに信号を理解させるのに分かりやすい絵本です。絵が主体でとてもはつきりとした色づかい。絵本の中がとて



あかりひかり
みどりのひかり
マーガレット・ワイス・ブラウン

案内・小野邦子さん(宿)

読み聞かせにもとても楽しめる一冊です。この機会に交通ルールを絵本で楽しみながら教えてみてはいかがでしょうか？。

くまのぼん

これから一年

下郷分校 三年

佐藤こすえさん



「三年生」。この言葉にはやはりこれまでと違った特別な響きがあります。個人的には、進路を決めなければいけないという大変な時期です。学校の中では、最高学年としての自覚を持って、諸活動に取り組んでいかなければいけ

ない時期です。

これまでも、職場見学や進路資料などを参考に、どのような進路を選ぶかは自分なりに考えてきたつもりです。しかし、現在まだ迷っています。周囲の人とも相談しながらよく考えて、早く自分の進路に向けた準備をしていきたいと思っています。

また、この二年間は十分納得できるような学校生活を送ることができませんでした。私はどちらかというと消極的です。今年はおとと積極的にいろいろなことに取り組んでみたいと思っています。特にボランティアにはこれまで以上に前向きな姿勢で臨みたいと思います。

三年生では、新たに学ぶことが更にたくさんあると思います。そういった一つ一つのことを残らず吸収できるように、毎日を大切に過ごし、悔いのない高校生活だったといえるような一年にしたいと思います。

あかしのむかし

布ざらし

むかしむかし、高戸屋から川越しに見える切りたつた崖の側に、はた織りをしていくきんという娘が住んでいました。

トンカラコ、トンカラコとはた織る音とともに、きんの鈴を振るような歌が聞こえるのでした。その織りあげた布を高い崖の上から長く長く垂れさらし、きれいな布は静かに流れる川面に映え、村人はあまりの美しいながめに誰いとうなく、この崖を布ざらしと呼んでいました。

年頃になったきんは、伯男という気立てのやさしい力持ちのお婿さんを迎えました。仲の良い夫婦はのどかな暮らしをしていましたが、ある年のこと、村始まって以来の大洪水に見まわ



佐々木駿人くん

高橋宏幸賞特集号の
訂正とお詫び

3月配布の広報ひがしゆり特集号(童話秋田県コンクール作品集)の感想文メルヘン賞佐々木駿人君の写真に誤りがありました。

ここで改めて佐々木駿人君を紹介し、訂正とお詫びをさせていただきます。

(教育委員会)

川岸のきん夫婦の家は、今にも流されそうになりました。きんを心配する婿の伯男は、自分の体に太い綱を巻き、必死に家を流されまいと、おそいかる濁流を防いでいるのでした。しかし、水かさはだんだん増すばかりです。ようしやなく降りしきる天空をにらむようにしていた伯男は「きん、しっかりしろ」と叫んだ瞬間、ものすごい形相の大蛇に化身してしまったのでした。

そのながをを抱え、下流のシマ湖の洞窟深く身をひそめてしまっていました。その後、村人はお堂を建ててこの悲しい夫婦をねんごろにまつりました。樹々の芽が萌えだす頃、川のせせらぎとともにシマ湖の洞窟あたりから、美しいきんの歌声が流れ、そしてまた洞窟に再び吸い込まれるように消えたといひます。

須郷田・小松常太郎氏(故人)の語りより再話 (文と絵・石渡力造氏)



4月▶データ東由利

〈2/1〜/28〉

住民基本台帳人口 () は前月比

■男	2,585人 (△5)
■女	2,739人 (△4)
■計	5,324人 (△9)
■世帯数	1,396戸 (△3)

() は1月からの累計

・出生6人(10)・死亡5人(13)
・転入0人(8)・転出10人(19)

■火災出動	0件 (0)
■救急出動	18件 (31)
■交通事故	0件 (1)
・死亡	0人 (0)
・傷者	0人 (1)
■飲酒運転	0人 (0)
■酒気帯び	0人 (0)

4月の行事予定

- 2 保育園入園式
- 4 小学校入学式
- 6 中学校入学式
- 23 ことぶき大学開講式
- 23〜24 中学校春季野球大会
- 26 東由利町農業委員会
委員一般選挙投票日

29 みどりの日

●春の全国交通安全運動は、
6日から15日までです。



ほっとひといき!

大琴小学校の1/2成人式。中でも印象的なものが夢発表でした。サッカー・野球選手、植物学者、宇宙飛行士、すし屋、ゲームプログラマーなど、みんな真面目に考えて発表していました。

そういえば、ラジオ番組で「夢+努力=現実」という言葉を聞いたことがあります。夢は努力してこそかなうという意味。大人になるにはまだ時間はあります。じっくりと将来について考えてほしいです。ちなみに私の夢は郵便局員か科学者でした。(さ)

東由利

郷土の野草

NO.158

ミスミソウ
(キンポウゲ科)

本州、九州の山の樹陰に生ずる多年草で、高さは十センチ内外、葉は常緑で根生し長柄があります。



葉の形が独特で、三つに裂けた先がとがることから三つの角というところ、この名がついたといわれます。花弁はなく、がく片が花弁のようになり、六〜九枚つきます。この色が白色から淡紅紫色までいろいろで、早春雪解けを待ちかねたように咲くので、雪割草ともいいます。葉の角の丸いものをスハマソウともいい、中間のものなど種類が多く、明確に区別することができないことがあります。

文・写真 小松忠正氏

広報クイズ

問・ことしのまちづくり。
町長施政方針の中であなたが一番期待していることは

なんですか?。答えが分かった方は、はがきに答え、住所、氏名、年齢、広報の感想などを書いて、東由利町役場広報まで。締切は四月二十日です。前回の解答は弥生でした。長谷山善幸さん(山崎)、遠藤フサさん(宿)、嶽石春香さん(島)、佐藤ムツエさん(時雨山)、佐々木重美さん(十文字町)、遠藤信子(小倉)以上の方が当選しました。



戸籍の窓口

(2月21日〜3月20日届出)

●お誕生おめでとう

伊東 空 真くん(賢悟) 島
佐藤 春香さん(真由美) 直博子(下通)

●ご結婚おめでとう

佐藤 友也さん 湯出野
小松 美香さん 本莊市

●こめい福をお祈りいたします

島山ヨシエさん(88・弥惣雄・母)上通
佐藤徳太郎さん(75・タミ子・夫)板戸
長谷山アサさん(71・明人・母)地ノ沢
小松アツ子さん(60・重二郎・妻)山崎
小野キクヨさん(94・万三・母)築新田
遠藤 正男さん(75・ハツ・夫)館西
千葉千代造さん(73・ナツヨ・夫)島

町の宝もの

第72回

この木は、高さ二十メートル前後にもなる落葉木で、材質が軽く柔らかいことから、家具・彫刻材などに用いられています。

写真は小野忠氏宅入口のもので、芽吹いてまもない早春に、この木はピンクの花が梢までいっぱい咲きほこり、珍しい光景でした。

氏によれば、この木は言い伝えで約二百年前後で、大正の頃、火事で一部焼失、その後根元が分かれて再生したようです。昭和二十年代までは葉を乾燥させ、臼でついて粉にし、抹香として使っていたとのこと。



文・畑山昭一氏

抹香の木(桂)・下小屋

元は空洞になっており、子供だとして、三人はいれます。

事典に「雌花のめしべの柱頭は、糸状で淡紅色を帯びる」とあります。この木の語源は「香出・香が出スル」からで、中国伝説では、月の世界に生えている木だそうです。

藤記さん(郡山市在住・家ノ下出身)、岡部紀美子さん(本莊市在住・上通出身)、伊東実さん(浦和市在住・横渡出身)、阿部フサヨさん(本莊市在住・蔵出身)、島山竹志さん(本莊市在住・茂沢出身)から金一封が届けられました。

ありがとうございました。